

令和3年度大阪府福祉基金地域福祉振興助成金地域福祉推進助成「事業評価」(事業概要)

団体名	森之宮病院	総合評価 A	評価基準(総合評価) S (非常に高く評価できるもの) A (高く評価できるもの) B (一定の水準にあるが一部課題のあるもの) C (一定の水準にあるがかなり課題のあるもの) D (全般的に多く課題のあるもの)
事業名	SAC 高層賃貸住宅における災害時要援護者支援(多世代・多機関交流の推進)③		
実施期間	2021年5月1日～2022年3月31日		
助成(実績)額	4,462,254円		

事業概要	事業実績	事業を実施したことによる成果
------	------	----------------

1. 活動の趣旨
当地域は高齢化・単身世帯率が高く、孤立死の課題がある。大阪北部地震では8～25階の高層住宅群のエレベーター停止により住民の不安が増大した。発災時の要援護者の支援についてR元年～3年度3ヶ年の大阪府福祉基金地域福祉振興助成金地域福祉推進助成事業の集大成とし、次年度以降も同様に支援を実践できる防災体制を構築する。

エレベーター停止に伴い対面による支援は限定される。
⇒非対面による支援体制の構築。(感染対策上も有効)
☆災害時対応アプリの完成⇒地域住民との試用
タブレット類を購入し、アプリ利用環境を整備。
☆ICT活用による情報共有の推進

災害時対応アプリの成果
①メール等非対面で安否を確認できる。
②タオ確認や対面による安否確認情報もアプリに統合できる。
③アプリ内登録者に対し、支援を要請でき、支援経過を登録できる。
④安否確認⇒支援要請⇒支援経過の管理が可能。(まちの命を見える化して守るシステム)
⑤ICT利用のきっかけとなる。

出展：大阪府スマートシティパートナーズフォーラム HP 掲載資料

住み慣れた地域で最期まで。安心・安全に暮らせる支援体制の構築。
～既存の地域支援ネットワーク(SAC)や専門職との連携を、ICTの活用により発展させ、地域のレジリエンスを高める～

森之宮地域の特徴～住居・行政・関係機関のネットワーク～
H27年：城東区役所・UR都市機構・森之宮病院の3者がスマートエイジング・シティの理念を踏まえたまちづくり協定を締結(SAC)。
以後、SAC参画機関(地域活動協議会・社会福祉協議会・地域包括支援センター・薬局・コンビニ・健康ステーション)と一緒に孤独死防止に向けたつながりがつく。防災活動を協働中策。

- ・3200戸に5000人
- ・複数の団地群
- ・8～25階の高層住宅
- ・単身世帯率51.6%
- ・高齢化率：32.6%
- ・町会加入率34.2%

ICTを活用した緩やかな見守り・健康支援
スマホ等ICTの普及による平時・有事の情報共有

ICTを活用した新たなつながりの構築
・住民間交流や支援者・住民間交流の推進
⇒平時と有事の安心へ

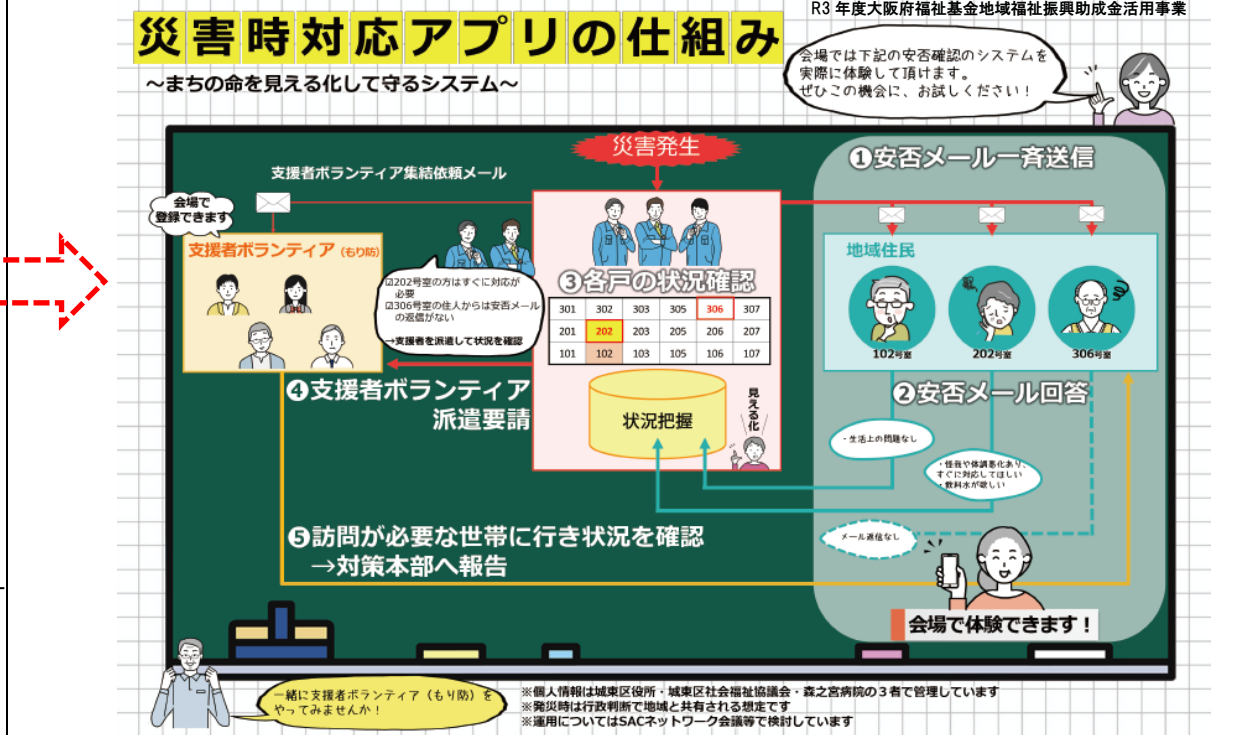
2025年には大阪公立大学が地域北部に移転予定。活性化が期待される地域です。

※毎月SACネットワーク会議を開催中。会議参加イベントの協働など仲間になってください。
※参加者：城東区役所・UR都市機構・森之宮病院・地域活動協議会(住居役員)・城東区社会福祉協議会・城東地域包括支援センター・URコミュニティ・森之宮健康館・ハザードマップ・セブンイレブン15番森之宮店・健康ステーションまなぶ(オペザーバー大阪府立大学・扶養用品工業株式会社)

顕著な課題への対応を要する
平時：対面・ICT双方におけるつながりが希薄。役員の高齢化による地域活動の限界。
地域内にコンビニ以外の商店なし。
高齢者スマホユーザー38.5%。情報共有の限界(R3年度大阪府福祉基金地域福祉推進助成事業より)
有事：停車・EV停止時の上下移動を伴う安否確認・救援の限界。

協働して下さる事業者を至急募集しています!

大阪府スマートシティパートナーズフォーラムに加入し、地域のICT支援に協力いただける事業者を募集
⇒MX モバイルリング株式会社の協力を得ることができた



2. 自助・共助の強化
SAC ネットワークを活用し、地域防災活動を継続した。
・防災・健康支援情報をのLINE 配信
防災・健康支援情報の配布(定期通信・チラシ)
防災意識アンケートの実施(2回)※

防災LINE：おともだち登録 322名
※防災意識アンケート：回答率 24%
①30～60代&町会未加入の回答が半数を占め、地域事業への参加実績のない住民層の声を収集し、LINEの有効性を確認できた。
②R元年・2年度に配布した防災資料の保管・確認率が高く、全戸配布の有効性を確認できた。
③災害への不安は、地震 99%>火災 76%>台風 51%>コロナ 49%の順に高く、地震が防災意識のきっかけとなることを確認できた。
④地域活動への関心は、防災関連 50%>お祭り 39%>講演会 29%>喫茶 26%の順に高く、防災事業への参加呼びかけは継続すべきと認識できた。

効果的な広報媒体の把握⇒
防災LINE・通信配布を併行する方針とする
地域への情報提供は、
地震・火災・台風・コロナ関連情報を継続して配信する。
防災展・防災訓練は、継続して企画・開催し、自助・共助の強化に努める。

- ・防災展を開催した
1 週間備蓄品の展示 (2 回)
災害時アプリ利用体験・スマホ教室
- ・防災訓練の予定したイベント等を緊急事態宣言により中止した。
- ・ノウハウを他地域へ広報する

防災展 300 名強の住民参加

- ・防災備蓄・災害トイレの実物展示 (協力：セブン-イレブン JS 森之宮団地店)
- ・災害時対応アプリの体験会
- ・スマホ相談会 ⇒ICT リテラシー向上の大きな課題の把握

相次ぐイベント中止⇒**オンライン防災訓練を開催**

- ・タオル掲揚&災害時対応アプリのコラボ訓練を企画。
- ・大阪市立大学都市防災研究センターの助言・講演も依頼。

民間病院における地域貢献事業のモデルとの声が多数

- ・法人理事長：病院経営者向けセミナーで活動報告
- ・社会福祉士：大阪公立大学医療福祉論・Yes-fm にて活動報告

スマホ教室開催
MX モバイリング株式会社の協力

- ・2 回/月
- ・10 名/回の参加

8 割強の満足度。
避難・安否確認を実行するとの回答多数。

「民間病院を中心とした地域包括ケアシステム」を今後も広報する予定

3. **2022 年度以降の活動体制の構築**

既存の構成員との協働体制の継続と
新たなプレーヤーとの協働体制を構築する。

現行システムの継続に向けた仕組みを構築した。

ICT 利用継続に要する維持費・個人情報管理の課題は残る

既存の構成員
区役所・社協・地域包括・UR 都市機構・コンビニ・薬局・健康ステーション・病院・地域活動協議会など

本事業を経てつながった新たな関係機関
ダイバーシティ研究所・大阪府スマートシティパートナーズフォーラム・MX モバイリング株式会社・大阪市立大学都市防災研究センター

当地域では下記による運用継続を予定するが、他の地域では困難が予想される。

- ・2027 年大阪公立大学情報学研究科が当地域に開設する予定 ⇒大学関係者に移転後の情報連携について依頼中。
- ・登録情報の更新：適宜イベント等で住民へ呼びかけ、システム開発者 (ダイバーシティ研究所) によるサポートを依頼済。
- ・防災 LINE など、広報費用の捻出は地域活動協議会へ予算化を相談。
- ・今後も継続して開催する地域防災事業にて、継続した自助・共助を呼び掛ける方針を SAC ネットワーク会議で共有済。

新たな SAC 協定の締結 (2022 年度)
現協定に大阪公立大学が加入。MX モバイリング株式会社との覚書締結も予定する

同様の課題 (高齢化・孤立化・高層住宅)
のある地域では、**ICT を活用した自助・共助システム**は有効だが、維持費・個人情報の管理には支援を要する。
⇒既存の地域活動では限界あり。**ICT 活用の支援策は今後の課題**だと考える。

全戸配布 & LINE 配信した結果報告資料
令和3年度大阪府福祉基金地域福祉振興助成事業

2022年3月6日
自宅で行った

防災訓練

ご参加くださった皆様
ご協力ありがとうございました

①タオルで無事を知らせる方法

②安否確認システムで無事を登録する方法

森之宮地域には、高層住宅に3000世帯以上がお住まいです。発災時には、こんな風に安否を確認できると安心できます！

エレベーターが止まると階段はしんどすぎる…タオルやメールで無事を確認できる人が増えてほしい

届いたメールに返信するだけで無事を知らせることができる。簡単だ！

安否登録システム

登録画面のイメージ

902	903	904	905	906
802	803	804	805	806
702	703	704	705	706
602	603	604	605	606
502	503	504	505	506
402	403	404	405	406
302	303	304	305	306
202	203	204	205	206

システムの使用目的:ご無事な世帯の素早い確認により、支援を必要とする方の効率的な支援につなげることができます。

災害時安否確認メールの登録をしておきませんか？
<ご登録方法は2通り>

【方法1】
QRコードを読み込んで空メールを送ってください

【方法2】
saigai@moribou.net 上記アドレスに空メールを送る方法もあります

※適宜、登録内容の変更の有無をお伺いするメールをお送りいたします。ご変更等ございましたら、入力の上、ご返信ください。

<地域活動協議会! 会長ご挨拶>
・今日は、安否確認を実践できてよかった。エレベーター停止時に、このようにいろんな方法で安否を確認できると安心もできるし、救助を必要な人を絞り込んで対応することができる。
・しかし、まだまだ課題や取り組まなければならないことは多い。一人でも多くの方にこのような活動に参加いただきたい。

皆様のご協力のおかげで、大阪府福祉基金による防災支援活動を完了することができました。有難うございました。

お問合せ先：社会医療法人大道会森之宮病院医療相談室 藤井由記代 TEL 06-6969-8730
社会医療法人大道会健康ステーションまなぶ 仲高慎二 TEL 06-6961-1356

※写真の挿入も可能です。(1~2枚程度)